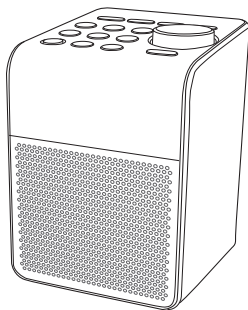


取扱説明書

FM-AM 2バンドレシーバー

品番 RF-200BT



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

準備する

ラジオ

Bluetooth®

使いこなす

必要なとき

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(⇒ ○○)で示しています。
- 本書では、本体のボタンを[○○]で示しています。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(→3～8ページ)

準備する

無線機能使用上のお願い.....	9
付属品	11
各部の名前と働き	12
(重要) 本機の防滴性能について	14
電源	15
AC アダプターを使用する	15
電池 (別売品) を使用する	15
はじめに.....	16
電源を入れる	16
地域を選んで放送局を登録する.....	16

ラジオ

ラジオを聴く	18
登録した放送局を変更する	19

Bluetooth®

Bluetooth® を楽しむ	20
機器を登録する	20
登録した機器を再生する	21
接続を解除する	21

使いこなす

設定	22
アラーム	22
スリープタイマー	23
オンシツ (音質)	23
ノイズクリア	23
トケイセッテイ (時計設定)	23
ショウメイ (照明)	24
ヒョウジ (表示)	24
ホンタイショキカ (本体初期化)	24
オートパワーオフ	24

必要なとき

故障かな! ?	25
仕様	26
著作権など	27
本機のお手入れ	27
保証とアフターサービス (よくお読みください) ...	28

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜く



ACアダプター
を抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・AC アダプターが異常に熱い
- ・本機、AC アダプターに変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- AC アダプターがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
- 電源を切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、販売店にご相談ください。

安全上のご注意 (続き)



警告

AC アダプターのコード部やプラグ部を破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、
引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ~
240 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、端子カバーや電池ふたを確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

音量つまみや端子カバーは、乳幼児の手の届くところに置かない



音量つまみや端子カバーは強く引くと外れます。
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

警告

電池は誤った使いかたをしない



- ・指定以外の電池を使わない
- ・乾電池は充電しない
- ・加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ・火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で充電・使用・放置しない
- ・⊕と⊖を針金などで接続しない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ・⊕と⊖を逆に入れない
- ・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や AC アダプター、アンテナに触れない



感電の原因になります。

接触禁止

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

使い切った電池は、すぐに本機から取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

AC アダプターのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

安全上のご注意 (続き)



AC アダプターは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

AC アダプターは水場（浴室や台所など）で絶対に使用しない



感電やショートによる火災などの原因になります。

水場使用
禁止

注意

AC アダプターを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、AC アダプターが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかけて、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない



高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる



音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 本機を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

安全上のご注意 (続き)



注意

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

長期間使わないときは、本機から電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、AC アダプターを抜く



通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

ACアダプター
を抜く

指定の AC アダプターを使う



指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

AC アダプターの DC プラグをなめない



感電のおそれがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

端子ふたをつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。
●また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機や AC アダプターに磁気の影響を受けやすいものを近づけない



本機や AC アダプターの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

本機の前後左右に十分なスペースを確保して設置する



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

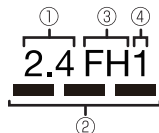
無線機能使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 2.402 GHz～2.480 GHzの全帯域を使用
- ③ 変調方式が FH-SS方式 (Bluetooth®)
- ④ 電波干渉距離 10 m 以下

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック株式会社
DIGA（ディーガ）・オーディオ
ご相談窓口（☎ 31）

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす

無線機能使用上のお願い (続き)

■ 使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**

次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- －電子レンジ
- －デジタルコードレス電話機
- －その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- －電波が反射しやすい金属物などの近く

- **電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。**

- すべてのBluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信するBluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線LAN を使用中にBluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線LAN のご使用をお控えください。

■ 用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

- ※ ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
- 例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

付属品

付属品をご確認ください。

- ☐ AC アダプター (1 個)
品番: TPBPA445



- 付属品の品番は、2017年5月現在のものです。変更されることがあります。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品や別売品 (⇒ 15) は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>
パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)

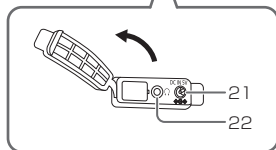
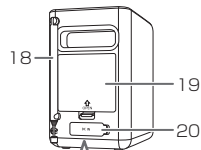
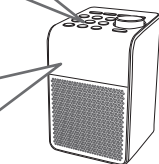
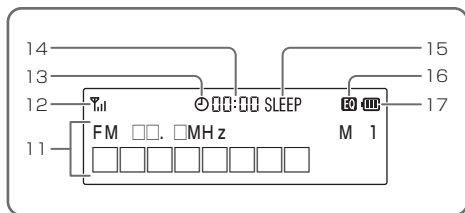
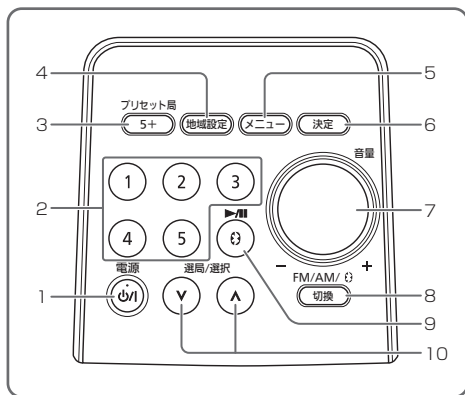
=== DC (直流)

☐ クラス II 機器 (二重絶縁構造)

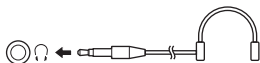
I 入 (ON)

⏻ 切 (スタンバイ)

各部の名前と働き



- 1 [電源 /I] (⇒ 16)
電源を入 / 切します。
● 電源 [] (切：スタンバイ) 状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため、AC アダプターを抜いておく、または電池を抜いておくことをお勧めします。
電源 [] (切：スタンバイ) 状態でも、電力を消費しています。
- 2 プリセットボタン ([1] ~ [5]) (⇒ 18)
放送局を登録したり、登録した放送局を聴いたりします。
- 3 [プリセット局 5+] (⇒ 18)
このボタンを押したあと約 10 秒以内にプリセット [1] ~ [5] ボタンを押すと、6 ~ 10 のプリセット選局となります。
- 4 [地域設定] (⇒ 16)
受信できる放送局を設定します。
- 5 [メニュー] (⇒ 20、22)
メニューを表示します。
- 6 [決定]
項目を決定します。
- 7 音量つまみ [– 音量 +]
音量を調整します。
- 8 [FM/AM/ 切換] (⇒ 18)
音源を切り換えます。
「FM」 → 「AM」 → 「Bluetooth」
└──────────────────┘
- 9 [▶/||] (⇒ 20)
Bluetooth® 音源に切り換えます。
Bluetooth® 音源再生中に押すと、一時停止 / 再生します。
- 10 [V 選局 / 選択] (⇒ 16、18、22)
周波数を選んだり、項目を選択します。
- 11 都道府県、地域、周波数、放送局名、メッセージなどを表示します。
- 12 FM 電波受信レベル (⇒ 18)
- 13 アラーム (⇒ 22)
- 14 時計 (⇒ 23)
- 15 スリープタイマー (⇒ 23)
- 16 音質 (⇒ 23)
- 17 電池残量表示 (⇒ 15)
- 18 FM アンテナ (⇒ 18)
- 19 電池ふた
- 20 端子カバー
- 21 DC IN 端子 (⇒ 15)
- 22 ヘッドホン端子 []



プラグタイプ：
3.5 mm ステレオミニプラグ

- ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。
- スピーカーの音声はモノラルですが、ヘッドホンの音声はステレオになります。

(重要) 本機の防滴性能について

■ 防滴性能*

本機の防滴仕様は、JIS C 0920 (IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」の IPX3 相当の仕様となっています。

防水仕様ではありません。浴室などでは使わないでください。

IPX3 (散水に対する保護等級) について

本機から約 40 cm 離れて、内径 0.5 mm のノズルで鉛直方向に対して ± 60 度の位置から約 10 L / 分の水を 5 分間散水したあと、本機の機能が動作することに対応します。

側面や底面からの散水には対応していません。また、湯水には対応していません。

付属の AC アダプターは、防水および IPX3 相当の仕様ではありません。

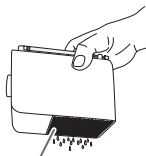
* すべての条件での防滴を保証するものではありません。

■ 水場での使用時のお願い

以下のことを確認してください。使用方法を誤ると誤動作の原因となります。

- 端子カバーと電池ふたはしっかり確実に閉じる。
- 手がぬれた状態や本機に水滴が付いたまま端子カバーや電池ふたを開けたり閉めたりしないでください。水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。
- 石けん水や洗剤などの液体をかけたり、水に入れない。
- 端子カバーや電池ふたのゴムパッキン部分に毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着している場合は、取り除いてから閉じてください。
- 寒冷地で水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、カバーが開かなくなるなど故障の原因になります。

- スピーカー部と本機背面の上部に水がたまることがあります。本機のスピーカー部に水がたまると、音がこもったり、ひずんだりすることがあります。本機を傾けて排水し、乾いた柔らかい布で拭いてください。



スピーカー部



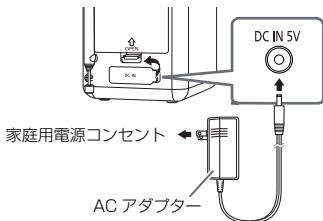
本機背面上部

- 万一、本機の内部に水が入った場合は使用を中止し、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証外となります。なお、付属品は防滴仕様ではありません。

電源

AC アダプターを使用する

AC アダプターを本機と家庭用電源コンセントにしっかりと接続してください。



お知らせ

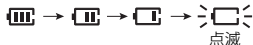
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- ACアダプターを接続すると、本機はスタンバイ状態になります。スタンバイ状態でも電力を消費しています。(⇒ 26)
- スタンバイモードでは、時計が表示されます。(ACアダプターが接続されている場合のみ)

電池（別売品）を使用する

本機は、ACアダプターを抜いていると電池を電源として使用します。

電池はマンガン乾電池、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池*をお使いください。

- 電池を使用するときはACアダプターを抜いてください。
- 電源を入るとバッテリーインジケーターが点灯し、電池の残量を示します。容量がなくなると、インジケーターが点滅します。

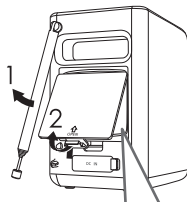


- * 充電式ニッケル水素電池をお使いのときは電池持続時間が短くなる場合があります。また、満充電でもバッテリーインジケーターが3つ点灯しない場合があります。

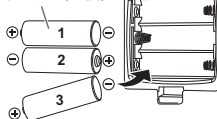
1 FM アンテナを少し起こす

2 電池ふたを外して、単3形乾電池3個を入れる

- 電池の極性(⊕と⊖)が本機の極性と合うように入れます。




単3形乾電池 (3個)



3 電池ふたを確実に閉める

お知らせ

- バッテリーインジケーター「」が点滅した場合は、電池3個をすべて交換してください。
- 本機で充電はできません。

準備する

はじめに

電源を入れる

[電源 〇/I] を押して電源を入れる

本機の電源を入れると、FM モードで起動します。

- 初めて本機をお使いになる場合は、「地域設定」を行ってください。(⇒ 右記)

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

地域を選んで放送局を登録する

ご使用地域に合わせて、受信できる放送局を設定します。

- 窓際などの受信環境のよい場所で行ってください。

1 [地域設定] を押す

2 [V 選局 / 選択 入] を押して地域を選び、[決定] を押す

3 [V 選局 / 選択 入] を押して都道府県(都市)を選び、[決定] を押す

カントウ	>
＜トウキョウト カナガワケン (ヨコハマ)	

お住まいの地域に合わせて自動で放送局 (FM と AM) が登録されます。

- FM/AM 各 10 局までの放送局を登録することができます。

お知らせ

- 自動で登録される放送局数は、地域により異なります。
- 手動で放送局を登録する場合、FM/AM 各 10 局まで登録できます。(⇒ 19)
- ご使用になる地域が変わったときや、放送局のサービスに変更があった場合は地域を登録し直してください。
- 登録できる地域は、「エリアバンクー一覧表」(⇒ 17) をご覧ください。

■ エリアバンクー一覧表

ホッカイドウ 北海道
ホッカイドウ (サッポロ)
北海道 (札幌)
ホッカイドウ (ハコダテ)
北海道 (函館)
ホッカイドウ (アサヒカワ)
北海道 (旭川)
ホッカイドウ (オビヒロ)
北海道 (帯広)
ホッカイドウ (クシロ)
北海道 (釧路)
ホッカイドウ (アバシリ)
北海道 (網走)
ホッカイドウ (ムロラン)
北海道 (室蘭)
ホッカイドウ (キタミ)
北海道 (北見)
ホッカイドウ (オタル)
北海道 (小樽)

トウホク 東北
アオモリケン (アオモリ)
青森県 (青森)
イワテケン (モリオカ)
岩手県 (盛岡)
ミヤギケン (センダイ)
宮城県 (仙台)
アキタケン (アキタ)
秋田県 (秋田)
ヤマガタケン (ヤマガタ)
山形県 (山形)
フクシマケン (フクシマ)
福島県 (福島)

カントウ 関東
イバラケン (ミト)
茨城県 (水戸)
トチギケン (ウツノミヤ)
栃木県 (宇都宮)
グンマケン (マエバシ)
群馬県 (前橋)
サイタマケン (サイタマ)
埼玉県 (さいたま)
チバケン (チバ)
千葉県 (千葉)
トウキョウト
東京都
カナガワケン (ヨコハマ)
神奈川県 (横浜)

コウシンエツ・ホクリク 甲信越・北陸
ニイガタケン (ニイガタ)
新潟県 (新潟)
トヤマケン (トヤマ)
富山県 (富山)
イシカワケン (カナザワ)
石川県 (金沢)
フクイケン (フクイ)
福井県 (福井)
ヤマナシケン (コウフ)
山梨県 (甲府)
ナガノケン (マツモト)
長野県 (松本)

トウカイ 東海
ギフケン (ギフ)
岐阜県 (岐阜)
シズオカケン (シズオカ)
静岡県 (静岡)
アイチケン (ナゴヤ)
愛知県 (名古屋)
ミエケン (ツ)
三重県 (津)

キンキ 近畿
シガケン (オオツ)
滋賀県 (大津)
キョウトフ (キョウト)
京都府 (京都)
オオサカフ (オオサカ)
大阪府 (大阪)
ヒョウゴケン (コウベ)
兵庫県 (神戸)
ナラケン (ナラ)
奈良県 (奈良)
ワカヤマケン (ワカヤマ)
和歌山県 (和歌山)

チュウゴク 中国
トットリケン (トットリ)
鳥取県 (鳥取)
シマネケン (マツエ)
島根県 (松江)
オカヤマケン (オカヤマ)
岡山県 (岡山)
ヒロシマケン (ヒロシマ)
広島県 (広島)
ヤマグチケン (ヤマグチ)
山口県 (山口)

シコク 四国
トクシマケン (トクシマ)
徳島県 (徳島)
カガワケン (タカマツ)
香川県 (高松)
エヒメケン (マツヤマ)
愛媛県 (松山)
コウチケン (コウチ)
高知県 (高知)

キュウシュウ・オキナワ 九州・沖縄
フクオカケン (フクオカ)
福岡県 (福岡)
フクオカケン (キタキュウシュウ)
福岡県 (北九州)
サガケン (サガ)
佐賀県 (佐賀)
ナガサキケン (ナガサキ)
長崎県 (長崎)
クマモトケン (クマモト)
熊本県 (熊本)
オオイタケン (オオイタ)
大分県 (大分)
ミヤザケン (ミヤザキ)
宮崎県 (宮崎)
カゴシマケン (カゴシマ)
鹿児島県 (鹿児島)
オキナワケン (ナハ)
沖縄県 (那覇)

ラジオを聴く

1 [FM/AM/ 切換] を押して「FM」または「AM」に切り換える

- 「地域設定」を行っていない場合は、「地域設定」を行ってください。
(⇒ 16)

2 プリセットボタン [1] ~ [5] を押して放送局を選ぶ

- 6 ~ 10 のプリセットを選ぶには
[プリセット局 5+] を押し、続けて
プリセットボタン [1] ~ [5] を押します。
(例)
プリセット 6 : [プリセット局 5+] → [1]
プリセット 10 : [プリセット局 5+] → [5]

■ 手でチューニングするには

[V 選局 / 選択 入] を押して周波数を合わせます。

- [V 選局 / 選択 入] を押し続けると、自動で放送局を探し、放送局が見つかったとチューニングを停止して受信を開始します。
- 放送局が見つかったも、受信状態によっては停止しない場合があります。
- 周囲の妨害電波などを受信して停止する場合があります。

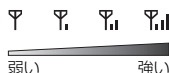
■ 受信状態を良くするには

FM 放送の場合

アンテナを伸ばして、電波が受信できる長さ、角度、方向を調整します。

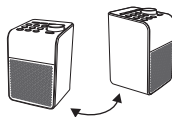


FM 電波受信レベル



AM 放送の場合

AM アンテナは本機に内蔵されています。本機の向きや位置を変えて調整します。



お知らせ

- 放送局を受信すると「TUNED」が表示されます。

例： FM 85.1MHz TUNED

- FM アンテナを持って本機を移動させると故障の原因になります。
- 本機の取り扱いやアンテナの調整には注意してください。けがをしないように、アンテナは顔から離してください。
- 本機を AC アダプターの近くで使用すると、ラジオ放送の受信に影響を及ぼすことがあります。この場合、本機を AC アダプターから離してご使用ください。

登録した放送局を変更する

プリセットボタンに登録された放送局を変更することができます。

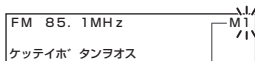
準備する

- 手動で放送局を選ぶ (⇒ 18)

1 登録したいラジオ放送を受信する

2 プリセットボタン [1] ~ [5] を押したままにする

- 6 ~ 10 に登録する場合は、
[プリセット局 5+] を押してから
プリセットボタン [1] ~ [5] を押した
ままにします。



プリセット番号を示します。

3 [決定] を押して放送局を登録する

お知らせ

- 手動で選んだ放送局の放送局名は表示されません。
(地域設定 (⇒ 16) で登録した放送局は表示されます。)

Bluetooth® を楽しむ

Bluetooth® に対応したオーディオ機器と本機をワイヤレスで接続し、音楽を再生することができます。

準備する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づけてください。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にしてください。
- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の説明書をお読みください。

機器を登録する

準備する

- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。(⇒ 21、「接続を解除する」)

1 [▶/||] [Bluetooth] を押して、Bluetooth® モードに切り換える

「ペアリング」が表示された場合は手順 5 に進みます。

2 [メニュー] を押す

3 [V 選局 / 選択 入] を押して「ペアリング」を選び、[決定] を押す

4 [V 選局 / 選択 入] を押して「ハイ」を選び、[決定] を押す

「ペアリング」が表示されます。
キャンセルする場合は「イイエ」を選択します。

5 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「RF-200BT」を選択する

- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）または「1234」を入力してください。
- 「RF-200BT」が表示される前に MAC アドレス（機器に固有の英数字）が表示される場合があります。
- 登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。

登録が完了すると、「セツゾク」（接続）が表示され、本機と機器が自動的に接続されます。

お知らせ

- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、登録の古いものから上書き登録されます。

登録した機器を再生する

準備する

- 本機と他のBluetooth®機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。(⇒ 右記、「接続を解除する」)

1 [▶/|| ⓑ] を押して、Bluetooth® モードに切り換える

「セツゾク」(接続) が表示されます。

- 「セツゾク」(接続) が表示されない場合は、Bluetooth® 機器側の設定を確認してください。

2 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

再生中、本機の [▶/|| ⓑ] を押すと一時停止または再生を開始します。

● お知らせ

- あらかじめ Bluetooth® 機器を登録(ペアリング)しておく必要があります。(⇒ 20)
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は1台です。
- 音源を Bluetooth® に切り換えると、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器に接続しようとします。
- デジタルテレビ、ワンセグテレビなどの音声聴くことはできません。(本機の Bluetooth® は、SCMS-T に非対応です。)詳しくは、下記サポートサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>

接続を解除する

- Bluetooth® 機器と接続中に操作します。

1 [▶/|| ⓑ] を押して、Bluetooth® モードに切り換える

2 [メニュー] を押す

3 [√ 選局 / 選択 へ] を押して「セツダン」(切断) を選び、[決定] を押す

4 [√ 選局 / 選択 へ] を押して「ハイ」を選び、[決定] を押す

キャンセルする場合は「イイエ」を選択します。

接続が解除されると「セツゾクマチ」(接続待ち) が点滅します。

● お知らせ

- 上記手順 1 のあと、「ペアリング」が表示されるまで [▶/|| ⓑ] を押したままにすることで、接続を解除することもできます。

■ 接続を解除したあと、別の Bluetooth® 機器を再生するには「セツゾクマチ」(接続待ち) が点滅中に

- 1 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「RF-200BT」を選択する
 - 「セツゾク」(接続) が表示されます。
- 2 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

設定

設定メニューを表示する

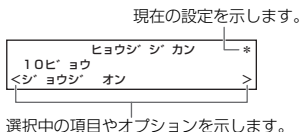
[メニュー]を押す

- 音源が Bluetooth® のときは、続けて [V 選局 / 選択 入] を押して「セッテイ」(設定) を選び、[決定] を押します。

メニューの選択方法

[V 選局 / 選択 入] を押して項目やオプションを選び、[決定]を押す

例：ヒョウジ (表示) の設定



2 各項目を順番に設定する

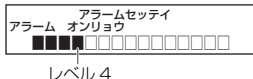
アラーム セッテイ (アラーム 設定)	「アラーム オン」 / 「アラーム オフ」* 「アラーム オン」を選ぶとアラームが設定できます。
アラーム ジコク (アラーム 時刻)	1 [V 選局 / 選択 入] を押して時間を選び、[決定] を押す 2 [V 選局 / 選択 入] を押して分を選び、[決定] を押す
アラーム オンゲン (アラーム 音源)	「ブザー」 / 「FM」 / 「AM」 音源を設定します。 「サイゴノハウソウキョク」 FM または AM を選ぶと、最後に聴いた放送局やプリセットされた放送局が選べます。
アラーム オンリョウ (アラーム 音量)	[V 選局 / 選択 入] を押して音量を設定し、[決定] を押す (音量つまみは無効です。)

* お買い上げ時の設定です。

アラームを設定すると「㊤」が表示されます。

お知らせ

- 電池で使用しているときは、アラームは動作しません。
- アラームの最小音量はレベル 4 です。



- 時刻が正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されていないと、アラームが正常に動作しない場合があります。
- アラームは毎日設定された時刻に 59 分間鳴ります。いずれかのボタンを押すか、音量つまみを回すとアラームが停止して電源が切れます。
- ACアダプターを一度抜いた場合や電池を交換した場合は、アラームを再度設定してください。
- ヘッドホンを接続している場合でも、アラームはスピーカーから鳴ります。

アラーム

準備する

- 時計を合わせる (⇒ 23)

1 設定メニューで「アラーム」を選び、[決定]を押す

アラーム設定画面が表示されます。

※の付いている項目はお買い上げ時の設定です。

スリープタイマー

スリープタイマーに設定した時間(分)が経過すると、自動的に電源が切れます。

- 1 設定メニューで「スリープタイマー」を選び、**[決定]**を押す
- 2 「オフ」※、「30」、「60」、「90」、「120」から時間を選び、**[決定]**を押す(分単位)

スリープタイマーを設定すると

「SLEEP」が表示されます。

スリープタイマーを解除する場合は「オフ」を選択します。

ノイズクリア

AM放送を受信中、雑音(ノイズ)が多い場合に「オン」を選びます。(AMモードのときのみ)

- 1 設定メニューで「ノイズクリア」を選び、**[決定]**を押す
- 2 「オン」または「オフ」※を選び、**[決定]**を押す

オンシツ(音質)

音質を設定します。(FMモード、Bluetooth®モードのときのみ)

- 1 設定メニューで「オンシツ(音質)」を選び、**[決定]**を押す
- 2 「ヒョウジュン」※(標準)、「オンガク」(音楽)、「ソフト」、「クリア」、「ニュース」からお好みの音質を選び、**[決定]**を押す

音質を設定すると「EQ」が表示されます。

音質を解除する場合は「ヒョウジュン」(標準)を選択します。

トケイセッテイ(時計設定)

本機の時計を設定します。

- 1 設定メニューで「トケイセッテイ」(時計設定)を選び、**[決定]**を押す
- 2 **[V 選局 / 選択 A]**を押して時間を選び、**[決定]**を押す
- 3 **[V 選局 / 選択 A]**を押して分を選び、**[決定]**を押す

お知らせ

- ACアダプターを一度抜いた場合や電池を交換した場合は、時計を再度設定してください。

設定 (続き)

※の付いている項目はお買い上げ時の設定です。

ショウメイ (照明)

表示部の明るさを設定します。

- 1 設定メニューで「ショウメイ」(照明)を選び、[決定]を押す
- 2 「アカルイ」※(明るい)または「クライ」(暗い)を選び、[決定]を押す

お知らせ



- 「アカルイ」(明るい)を選んでも、電源切(スタンバイ)時は自動的に「クライ」(暗い)になります。

ヒョウジ (表示)

表示部を常時表示させるか、操作後 10 秒間だけ表示させるかを設定します。

- 1 設定メニューで「ヒョウジ」(表示)を選び、[決定]を押す
- 2 「10 ビョウ」(10 秒)または「ジョウジ オン」※(常時オン)を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 「10 ビョウ」(10 秒)に設定した場合、10 秒間何も操作を行わないと表示が消えます。電源入の状態では[電源 /I]以外のボタンや音量つまみを操作すると再度表示されます。この時操作したボタンの機能は働きません。電源切の状態では、[電源 /I]以外のボタンや音量つまみを操作しても時計は表示されません。(AC アダプター使用時)

ホンタイショキカ (本体初期化)

- 1 設定メニューで「ホンタイショキカ」(本体初期化)を選び、[決定]を押す
- 2 「イイエ」※または「ハイ」を選び、[決定]を押す
「ハイ」を選択すると、本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

オートパワーオフ

約 20 分間操作しないと自動的に電源が切れます。(Bluetooth® モードのときのみ)

この機能を無効にするには

- 1 [メニュー]を押す
- 2 「オートパワーオフ」を選び、[決定]を押す
- 3 「オフ」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- この機能を有効にするには、手順 3 で「オン」を選びます。
- FM/AM 音源を使用しているときは働きません。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

共通

音がひずむ、音が聞こえない

- 音量を調節してください。
- FM アンテナや AM アンテナ（本機の向き）を確認して調整してください。
- 本機を別の場所に移動してもう一度地域設定を行ってください。
- AC アダプターの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他の機器やコードを本機の AC アダプターから離してください。

うまく受信できない、雑音が聞こえる

- FM アンテナまたは本機をパソコン、テレビ、その他機器のケーブルやコードから離してください。電波干渉が原因の場合は、携帯電話を本機から離してください。
- 電池残量が少なくなると、雑音が聞こえることがあります。AC アダプターを接続するか、新しい電池に交換してください。

時計が表示されない（電源切のとき）

- 電池で使用していませんか。AC アダプターを接続してください。
- 「ヒョウジ」（表示）の設定を「ジョウジ オン」（常時オン）にしてください。（⇒ 24）

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。
- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。

Bluetooth® 機器と接続できない

- Bluetooth® 機器の登録に失敗しました。登録をやり直してください。
- Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去されました。登録をやり直してください。
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器との接続を解除し、もう一度接続を行ってください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- 一部の Bluetooth® 内蔵機器によっては、音声出力を手動で「RF-200BT」に設定する必要があります。詳細は Bluetooth® 機器の取扱説明書をお読みください。
- デジタルテレビ、ワンセグテレビなどの音声を聴くことはできません。（本機の Bluetooth® は、SCMS-T に非対応です。）詳しくは、下記サポートサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>

音が途切れる

- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありますか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と Bluetooth® 機器を近づけ、他の機器を離してください。

使いこなす

必要なとき

仕様

■ 総合

電源

AC アダプター

入力: AC 100 V ~ 240 V、
50/60 Hz、0.3A、
25 VA (100 V)、35 VA (240 V)
出力: DC 5 V、2 A

本体

入力: DC 5 V、2 A
電池: DC 4.5 V (単 3 形乾電池 × 3 個)

消費電力: 約 3.0 W
(ヒュウジ (表示)「ジョウジ オン」(常時オン)、
ショウメイ (照明)「アカルイ」(明るい) 時)
スタンバイモード時: 約 1.0 W
(ヒュウジ (表示)「ジョウジ オン」(常時オン) 時)

寸法 (幅 × 高さ × 奥行)

最大外形寸法 (JEITA):
約 90 mm × 140 mm × 100 mm
本体寸法:
約 90 mm × 139 mm × 99 mm

質量

本体 (乾電池を除く): 約 0.65 kg
本体 (乾電池を含む): 約 0.75 kg
AC アダプター: 約 0.15 kg

許容動作温度: 0 °C ~ +40 °C
許容相対湿度: 20 % ~ 80 % RH
(結露なきこと)

防滴性能: IPX3 相当

■ チューナー部

FM

プリセットメモリー登録数: 10 局
受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 108.0 MHz
(100 kHz ステップ)

AM

プリセットメモリー登録数: 10 局
受信周波数帯域: 522 kHz ~ 1629 kHz
(9 kHz ステップ)

■ Bluetooth® 部

バージョン: Bluetooth® Ver. 2.1+EDR
送信出力: Class 2
対応プロファイル: A2DP、AVRCP
動作周波数帯域: 2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離: 約 10 m

■ アンブ部 (モノラル)

実用最大出力 (JEITA)

AC アダプター: 2.5 W
電池: 1.5 W

■ スピーカー部

フルレンジ: 5 cm コーン型 × 1

■ 端子部

ヘッドホン端子: ステレオミニ (3.5 mm)
推奨インピーダンス 16 Ω

■ 電池持続時間

(60 mW 動作、ヒュウジ (表示)「10 ビョウ」
(10 秒) 時)

パナソニック製アルカリ乾電池使用時

Bluetooth®: 約 12 時間
FM/AM: 約 8 時間

パナソニック製マンガン乾電池使用時

Bluetooth®: 約 3 時間
FM/AM: 約 2.5 時間

(60 mW 動作、ヒュウジ (表示)「ジョウジ オン」(常時オン)、ショウメイ (照明)「アカルイ」(明るい) 時)

パナソニック製アルカリ乾電池使用時

Bluetooth®: 約 6 時間
FM/AM: 約 4.5 時間

パナソニック製マンガン乾電池使用時

Bluetooth®: 約 0.9 時間
FM/AM: 約 0.7 時間

● お知らせ

- 仕様は予告なしに変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

著作権など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは一部記載していません。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

本機のお手入れ

AC アダプターをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 乾電池の廃棄について

- 不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。
- ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

■ 充電式電池の廃棄について

- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC の
ホームページをご参照ください。
ホームページ <http://www.jbrc.com>



保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「故障かな! ?」(⇒ 25) でご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	FM-AM 2 バンドレシーバー
● 品番	RF-200BT
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6 年**

当社は、この FM-AM 2 バンドレシーバーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、31 ページの DIGA（ディーガ）・オーディオご相談窓口、修理ご相談窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただきますときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
 - (ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご添付がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.



Panasonic

持込修理

FM-AM 2バンドレシーバー 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RF-200BT
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 お名前 様 電 話 () —
※ 販売店	住所・販売店名 電 話 () —

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。





使い方・お手入れなどのご相談

DIGA (ディーガ)・オーディオご相談窓口



パナは キュウハチニ

0120-878-982

受付時間
9:00~20:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■ FAX フリーダイヤル
 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)



修理に関するご相談

修理ご相談窓口



パナは イイヨ

0120-878-554

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
03-6633-6700

■ FAX フリーダイヤル
 0120-878-225

便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>



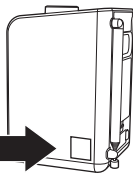
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- 宅配便による引取・配送サービスも承っております。(保証期間内は無料)

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 本機側面の QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます



QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

愛情点検

長年ご使用のFM-AM 2バンドレシーバーの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・ 煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・ 音声が出ないことがある
- ・ 内部に水や異物が入った
- ・ 本体に変形や破損した部分がある
- ・ その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
ホームエンターテインメント事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号



72-RD20JP-120B3